

さんかく  
**便り**  
めがでる

植え込みに何か動いた。目を凝らし、黄色のチョウかな、少し早い春だな、と近づいてみたら、水仙であった。草に埋もれ忘れ去っていたのに、時が来たとき芽を伸ばし花を咲かせた。植物の生命の律儀さに老いの身をしばし忘れた。  
(名華女)

あつという間に来年は高齢者と称される年となる。いろいろとあった。エンマ様に「何か世の中のお役に立つことをしたか?」「良い種まきをしたか?」と聞かれた時、元氣よく答えられるようなことは何も無い。乱暴に種をまき散らしたなあ...ちゃんと芽が出るだろうか...今さら猛省しても遅きに失する。  
(すみちゃん)

結婚前の占いで、私は遅咲きだから、晩年に芽がでて花が咲くといわれた。確かに時間をかけて我慢という種をまきつつたので、目では見えない芽がでているのだと確信している。きつとしばらくしたら綺麗な花が咲くのではないかと密かに楽しみにしている。  
(しばり)

その昔、母が玉ねぎを育てるとき、張り



△ハモン博士のまとめ

「めがでる」なんとも夢のある表現じゃ。じゃが、タネをまかんことには芽は出ん。成長しその芽がどんなふうになるのか、花を咲かせるか、実になるのか。そう考えると、タネにはわくわく、ドキドキがたくさん詰まってる。まずは、いろんな所にタネをまくことから始めたいもんじゃ。



オレンシの種をほじくる息子。植えたら木なかなあという息子。まあどうせ無理だと思いつつ、これもよい経験と植木鉢に土を入れて渡してやった。結果、枯れはしたものの、見事に芽が出た! どうせ無理だ何もしなければ、芽も出ない。勉強になります。  
(俺)

切っていつもより高い肥料を入れた...枯れた。ということがあった。芽が育つためには、状況や環境に合う保護(栄養)と放置(見守り)、適正な加減が必要なんだと学んだ。子育てを含む対人関係も同じ。芽が出た、保護は? 放置すべき? 手加減は? ああ、難しい。  
(チャーミー)

問合せ  
大口町NPO登録団体ハモン  
☎95-1691

Be Ambitious vol.336

町内にお住まいの  
20代の皆さんがリレーで登場!

心に寄り添える看護師に...



佐藤 早夏さん(下小口) H10・6月生

心に優しい声がけをしてくれた患者さん。看護は一方通行ではなく、人とのつながりでありたっている仕事だと感じました。

次のステップは...

入院されている方は人生の先輩ばかり。なにげない日常会話も、勉強になることが多い。患者さんと関わることが好きですが、あまり時間がとれないのも現状です。もっとお一人おひとりと向き合いたいと思いが強くなりました。いずれは病床数の少ないリハビリ回復病棟に移り、自分の理想の看護ができればと考えています。

総合病院の呼吸器内科で働いています。さまざまな経験を重ねながらようやく仕事にも慣れてきたところです。1年目がちょうどコロナが始まった年と重なり、患者さんとのコミュニケーションにも大きな影響がありました。学校では表情で感じ取ることが学んでいましたが、マスクにフェイスシールドを重ね、声さえも聞き取りづらい状況。面会制限も続き、患者さんのストレスとの関わり方も模索しながらの日々でした。

この2年で感じたことは、周りの人たちのおかげで今があるということ。私が落ち込んでいた時期に、力になってくれた先輩、同僚、友人、家族。それから、サポートする側の



▲シンガポールのポケモンセンターにて。小学生の頃からポケモンが大好き! 休日に姉や友人とポケモンのカードゲームを楽しむことも。